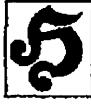


ハンドボール No.19

Japan
Handball
Association



- 社会人
- 学生
- 高専
- 高体連
- 中体連
- 小学生
- 成年女子

- 全国大会
- ブロック大会
- 都道府県大会

- 男子
- 女子

試合
番号 **A-あ**

年月日 2023 年 10 月 8 日 (日)
大会名 特別国民体育大会 燃ゆる感動がこしあ国体 ハンドボール競技

公式記録用紙

A	鹿児島県										香川県										B					
鹿児島県		霧島市				霧島市国分体育館						1回戦														
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mシュート	A	B												
	14	11	30	25																						
7m得点/総数	A 5/6		チームタイムアウト									B 3/3		7m得点/総数												
			1 22:53	2 18:03	3							1 9:54	2 8:49	3 25:45												
No.	鹿児島県						G	W	2'	2'	D	DR	No.	香川県						G	W	2'	2'	D	DR	
1	飛田 季実子												1	下馬場 燎												
2	川俣 ゆかり												2	岸野 美空												
3	青 麗子						5						3	立石 恋菜						2		1				
4	松浦 侑加						6						4	石川 有香						2						
5	伊地知 美姫						3						5	岡田 彩愛						5						
6	伊地知 愛妃						2		1				6	仲尾 明日香						2						
7	笠 泉里						9						7	内藤 ひな												
8	川島 芽依												8	江本 ひかる						1						
9	岩元 侑莉												9	安堂 萌恵						7	2	1	1			
10	河嶋 英里						4	1					10	吉本 里緒						1						
11	川上 真愛						1						11	和知 史華						5						
12	坂本 晶												12	碓井 鈴果												
監督A	本藏 理												監督A	亀井 好弘												
役員B	高栖 由香												役員B	松浦 貴裕												
役員C	山内 真琴																									
A	本藏 理						チーム役員A署名						亀井好弘						B							
特記事項																										
レフェリー	佐々木 卓介						馬場 智也						依木 新						馬場 智也							
TD	河野 真育												河野 真育													
MO	児玉 浩三郎												児玉 浩三郎													

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技

試合結果・戦評報告書

競技日	10月 8日 (日)	試合番号	A-あ	回戦	1
種別	成年女子	会場	霧島市国分体育館		

Aチーム名			Bチーム名		
鹿児島			香川		
得点合計	小計		小計	得点合計	
30	14	前半	11	25	
	16	後半	14		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

地元の声援を受けた鹿児島が、意欲と集中力に満ちた開幕となった。香川⑤岡田が先制するも、鹿児島④松浦の積極的なオフェンスが誘発した7mTなどで得点を重ねる。鹿児島が⑩河嶋⑦笠の速攻により3点差をつけると香川はタイムアウトを要求。その後香川はポストプレーを中心に攻めるが、鹿児島①飛田のファインセーブによりなかなか点差を縮めることができない。しかし、⑨安堂のミドルシュートや⑩吉本のカットインで16分同点に追いつく。さらに香川は⑨安堂、③立石が2分間退場となるも、①下馬場のファインセーブをはじめ、攻守で粘り強さを見せる。その後一進一退の攻防が続くなか、鹿児島は③青⑦笠のサイドシュートなどで3点差をつけて、14対11で前半を終えた。

後半開始、鹿児島は⑩河嶋のカットイン、④松浦の速攻によりさらに点差を広げる。香川は、鹿児島の①飛田のセービングに阻まれながらも、③立石のポストシュートで食らいつく。さらに速攻やクイックスタートによって、①和知④石川が得点を重ねる。一方の鹿児島も、④松浦のカットイン、③青のポストシュートにより点差を縮めさせない。その後、4～5点差が続くが、香川が④石川①和知の速攻により少しずつ点差を縮め、18分に1点差まで詰め寄ったところで鹿児島はタイムアウトを要求。その後、鹿児島の組織的オフェンスが機能。⑥伊地知のブラインドシュートも決まり、再び5点差に戻す。香川は、残り時間5分を切っても足が止まることなく速攻を続けるが、鹿児島の粘り強いディフェンスに阻まれる。⑤岡田がミドルシュートを決めるも、ここで試合終了。開幕から激しい試合となった1回戦は、30対25で鹿児島が制した。

記載者氏名	廣森 健太郎
送信日時	10月 8日 (日) 11:35